

# 2021年3月期第2四半期 決算説明会

2020年11月25日



大日本塗料株式会社

(証券コード 4611 東証第一部)

# 目次

---

<b>Part I . 決算実績・業績予想</b>	<b>P. 2</b>
<b>Part II . 中期経営計画</b>	<b>P. 13</b>
<b>Appendix . 製品紹介、関連会社事業内容</b>	<b>P. 27</b>



## Part I . 決算実績・業績予想

# 1. 2021年3月期 第2四半期決算実績

## ① 連結損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		
増減額					増減率		
売上高	36,841	100.0	30,049	100.0	△ 6,791	△ 18.4	■ 各セグメントにおいて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きく需要減
売上総利益	10,903	29.6	8,550	28.5	△ 2,353	△ 21.6	
販売費及び 一般管理費	8,150	22.1	7,735	25.7	△ 415	△ 5.1	■ 売上減少に伴う変動費の減少 ■ 出張自粛による旅費交通費・交際費等の減少
営業利益	2,752	7.5	815	2.7	△ 1,937	△ 70.4	
経常利益	2,872	7.8	1,038	3.5	△ 1,834	△ 63.9	■ 雇用調整助成金113M
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,776	4.8	413	1.4	△ 1,362	△ 76.7	
減価償却費	1,063	—	1,184	—	121	11.4	
設備投資額	2,371	—	2,184	—	△ 186	△ 7.8	■ 国内塗料1,609M (技術C関連1,017M) ■ 海外塗料471M (中国関連407M)

# 1. 2021年3月期 第2四半期決算実績

## ②セグメント別売上高・営業利益

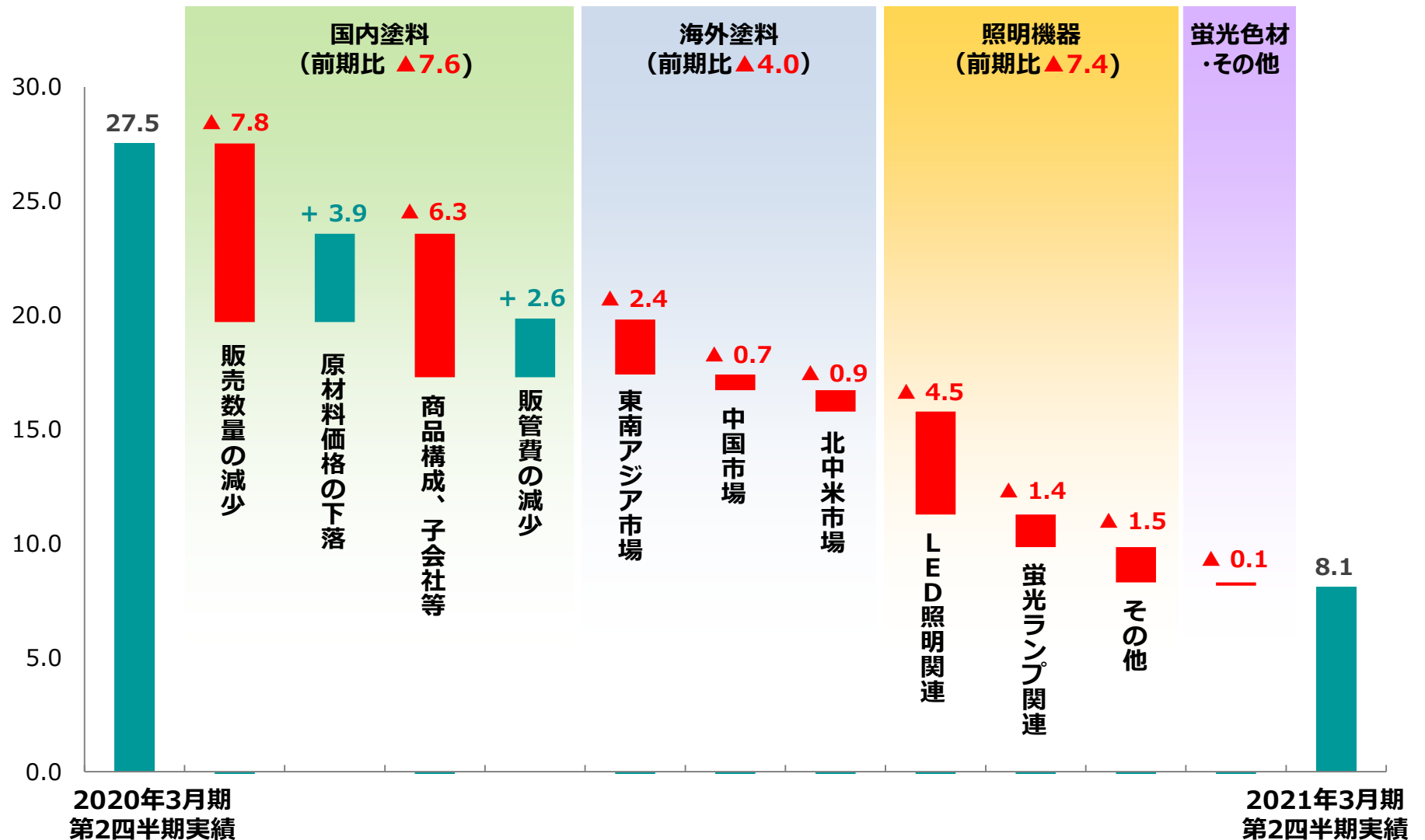
(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		
					増減額	増減率	
<b>売上高</b>	36,841	100.0	30,049	100.0	△ 6,791	△ 18.4	
国内塗料	26,557	72.1	22,595	75.2	△ 3,961	△ 14.9	■ 建材、自部品など工業用途中心に需要減
海外塗料	3,649	9.9	2,355	7.8	△ 1,294	△ 35.5	■ 各拠点で自動車生産が一時停止し需要減
照明機器	5,090	13.8	3,447	11.5	△ 1,642	△ 32.3	■ 商業施設向けに需要減
蛍光色材	684	1.9	556	1.9	△ 128	△ 18.7	■ 海外顔料市場で需要減
その他	859	2.3	1,095	3.6	235	27.4	■ 塗装工事業が堅調に推移
<b>営業利益</b>	2,752	100.0	815	100.0	△ 1,937	△ 70.4	
国内塗料	1,119	40.7	352	43.3	△ 767	△ 68.5	■ 需要減により生産子会社で減益
海外塗料	439	15.9	31	3.8	△ 407	△ 92.9	
照明機器	892	32.4	144	17.7	△ 748	△ 83.9	
蛍光色材	63	2.3	37	4.7	△ 25	△ 40.6	
その他	102	3.7	151	18.5	48	46.7	
調整額	134	5.0	98	12.0	△ 36	△ 27.1	

# 1. 2021年3月期 第2四半期決算実績

## ③ 連結営業利益（実績）の増減要因

(単位：億円)



# 1. 2021年3月期 第2四半期決算実績

## ④ 連結貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増減額	コメント
<b>流動資産</b>	33,317	33,245	△ 72	
現金及び預金	5,317	8,812	3,494	■ 国内塗料 + 3,155、照明機器 + 241
受取手形及び売掛金	17,172	14,128	△ 3,044	■ 国内塗料△1,065、海外塗料△771、照明機器△982、 蛍光色材△85、その他△140
たな卸資産	9,439	8,878	△ 560	■ 国内塗料△256、海外塗料△217、照明機器△99
その他流動資産	1,387	1,425	37	
<b>固定資産</b>	43,499	45,023	1,523	
有形固定資産	25,437	26,174	737	■ 設備投資 + 2,175、減価償却△1,137、 為替換算△132、減損△72、売却△66
無形固定資産	542	471	△ 70	■ 設備投資 + 24、減価償却△84、換算差額△10
投資その他の資産	17,520	18,377	856	■ 投資有価証券時価評価 + 536、退職給付に係る資産の 増加 + 410、繰延税金資産の減少△89
<b>資産合計</b>	76,817	78,269	1,451	
<b>負債合計</b>	32,138	34,290	2,151	
(借入金残高)	(4,160)	(8,900)	4,739	■ 設備投資資金の確保と手元資金の拡充のため増加
<b>純資産合計</b>	44,679	43,979	△ 700	
<b>負債純資産合計</b>	76,817	78,269	1,451	

# 1. 2021年3月期 第2四半期決算実績

## ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	2,140	1,404	△ 735	■ 四半期純利益の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,464	△ 1,403	1,061	■ 設備投資関連の支払減少 + 861 ■ 固定資産売却収入 + 119
財務活動による キャッシュ・フロー	145	3,700	3,554	■ 短期借入金による調達額の増加 + 3,339 ■ 自己株取得減少 + 308 ■ 長期借入金の返済額の増加△278
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3	△ 195	△ 199	
現金及び現金同等物の 増減額	△ 175	3,506	3,681	
現金及び現金同等物の 期首残高	5,704	5,064	△ 640	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,529	8,570	3,041	



## 2. 2021年3月期 通期業績予想

### ① 連結損益計算書 (P/L) (業績予想)

(単位：百万円、%)

	実績		業績予想				コメント
	2020年3月期		2021年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
増減額					増減率		
売上高	72,709	100.0	62,500	100.0	△ 10,209	△ 14.0	■ 下半期は緩やかに需要回復を見込むが、本格的回復には至らない見通し
売上総利益	21,800	30.0	17,810	28.5	△ 3,990	△ 18.3	■ 原材料価格は上期水準で推移
販売費及び一般管理費	16,252	22.4	15,810	25.3	△ 442	△ 2.7	■ 変動費や旅費交通費が減少
営業利益	5,547	7.6	2,000	3.2	△ 3,547	△ 63.9	
経常利益	5,786	8.0	2,250	3.6	△ 3,536	△ 61.1	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,662	5.0	1,100	1.8	△ 2,562	△ 70.0	
減価償却費	2,206	—	2,350	—	143	6.5	
設備投資額	4,426	—	3,300	—	△ 1,126	△ 25.4	■ 国内の投資は上半期が中心 ■ 中国関連が増加基調

## 2. 2021年3月期 通期業績予想

### ②セグメント別売上高・営業利益（業績予想）

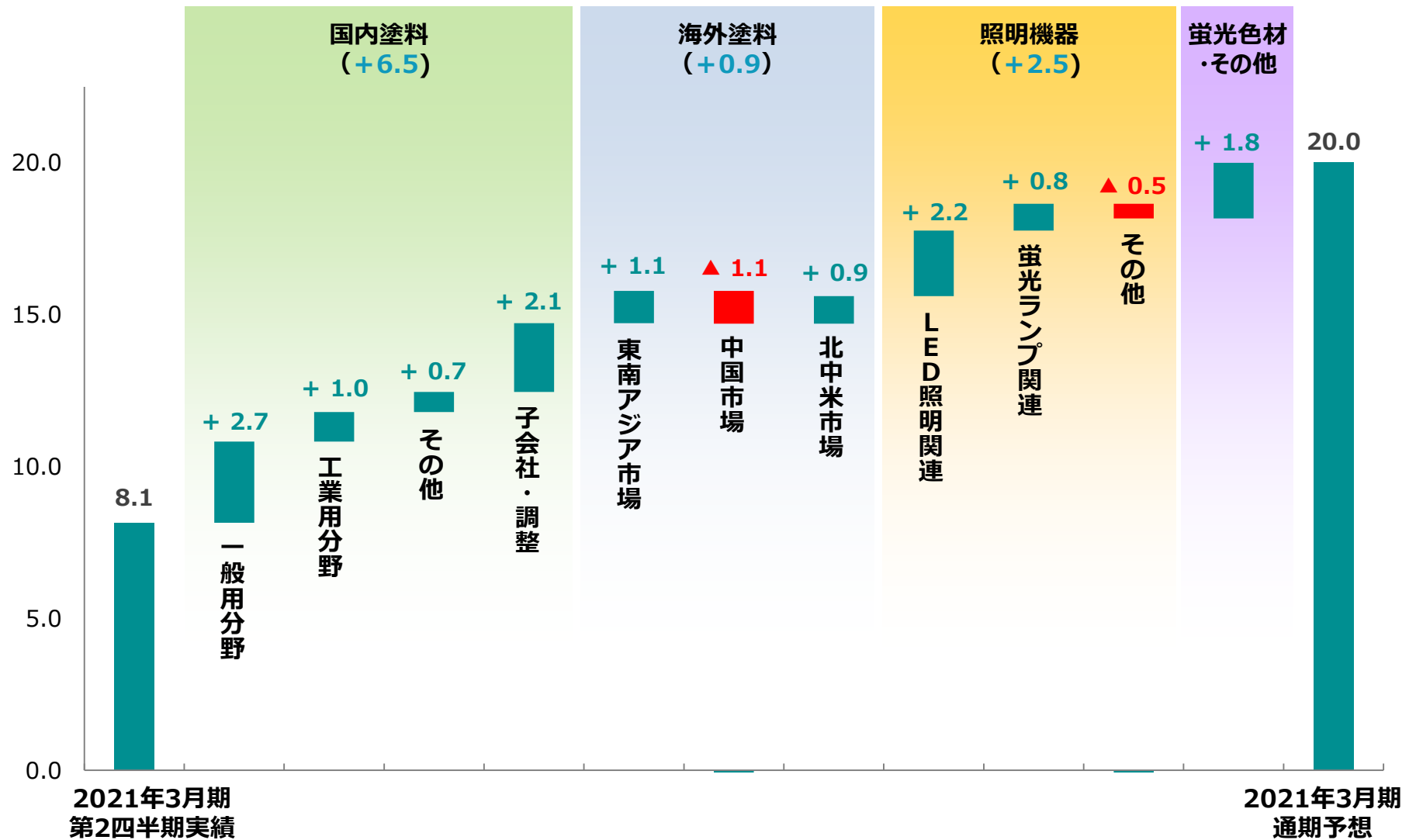
（単位：百万円、%）

	実績		業績予想				コメント
	2020年3月期		2021年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
					増減額	増減率	
<b>売上高</b>	72,709	100.0	62,500	100.0	△ 10,209	△ 14.0	
国内塗料	51,861	71.3	46,830	74.9	△ 5,031	△ 9.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共工事は堅調な見通し</li> <li>工業用は緩やかながら回復の見通し</li> </ul>
海外塗料	7,290	10.0	5,010	8.0	△ 2,280	△ 31.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域で自動車生産が底打ち</li> </ul>
照明機器	10,135	13.9	7,450	11.9	△ 2,685	△ 26.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設は投資抑制により需要減の見通し</li> </ul>
蛍光色材	1,337	1.8	1,180	1.9	△ 157	△ 11.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外市場は回復も限定的に留まる見通し</li> </ul>
その他	2,084	3.0	2,030	3.2	△ 54	△ 2.6	
<b>営業利益</b>	5,547	100.0	2,000	100.0	△ 3,547	△ 63.9	
国内塗料	2,464	44.4	1,010	50.5	△ 1,454	△ 59.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗ウイルス塗料等の新製品の拡販に注力</li> </ul>
海外塗料	843	15.2	120	6.0	△ 723	△ 85.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイでは人員合理化を実施</li> </ul>
照明機器	1,639	29.5	400	20.0	△ 1,239	△ 75.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>紫外線除菌新製品を開発、販売に注力</li> </ul>
蛍光色材	116	2.1	60	3.0	△ 56	△ 48.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境対応新製品拡販による利益確保を図る</li> </ul>
その他	217	3.9	210	10.5	△ 7	△ 3.7	
調整額	266	4.9	200	10.0	△ 66	△ 25.0	

## 2. 2021年3月期 通期業績予想

### ③ 連結営業利益（業績予想・下期）

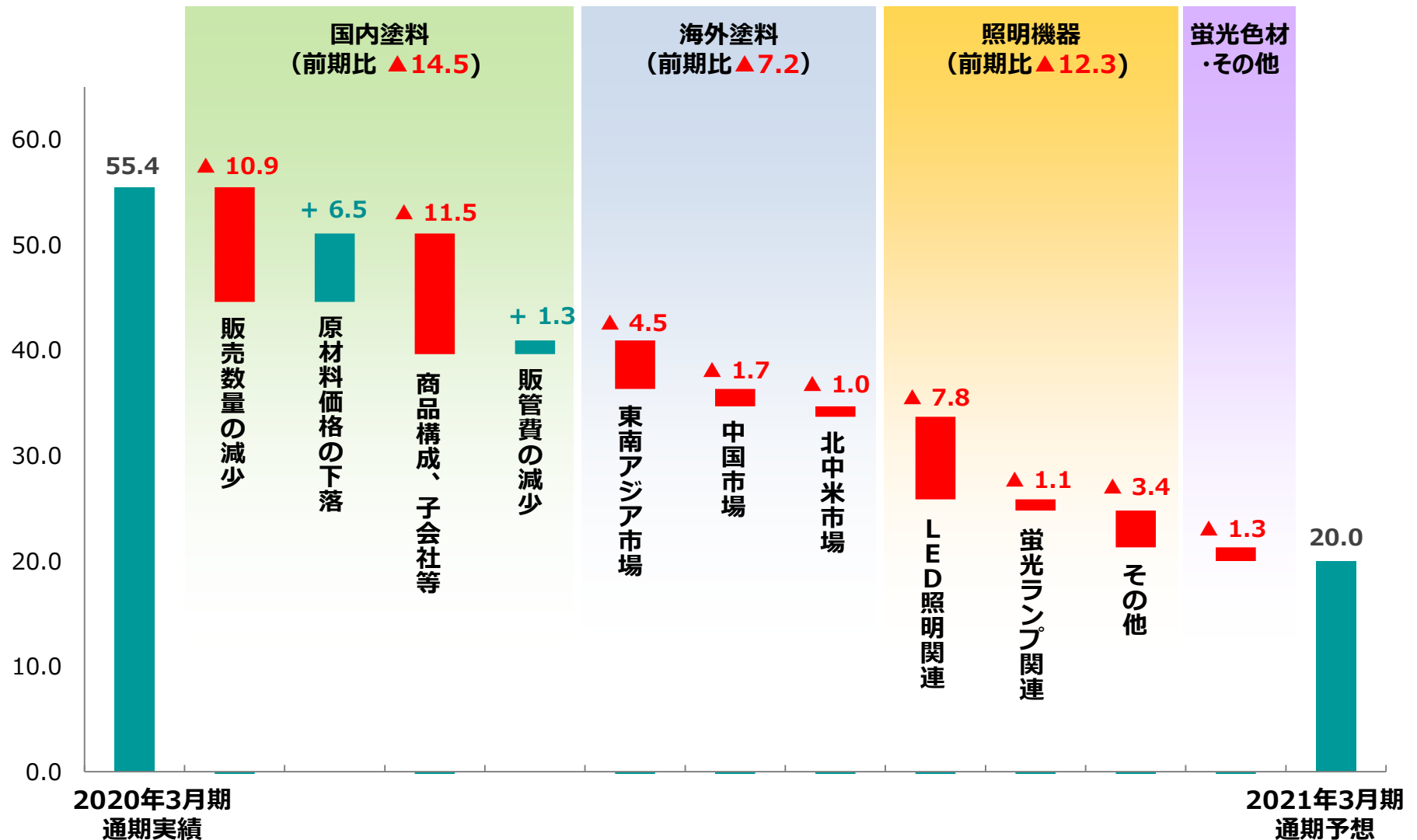
(単位：億円)



## 2. 2021年3月期 通期業績予想

### ④ 連結営業利益（業績予想）の増減要因

(単位：億円)

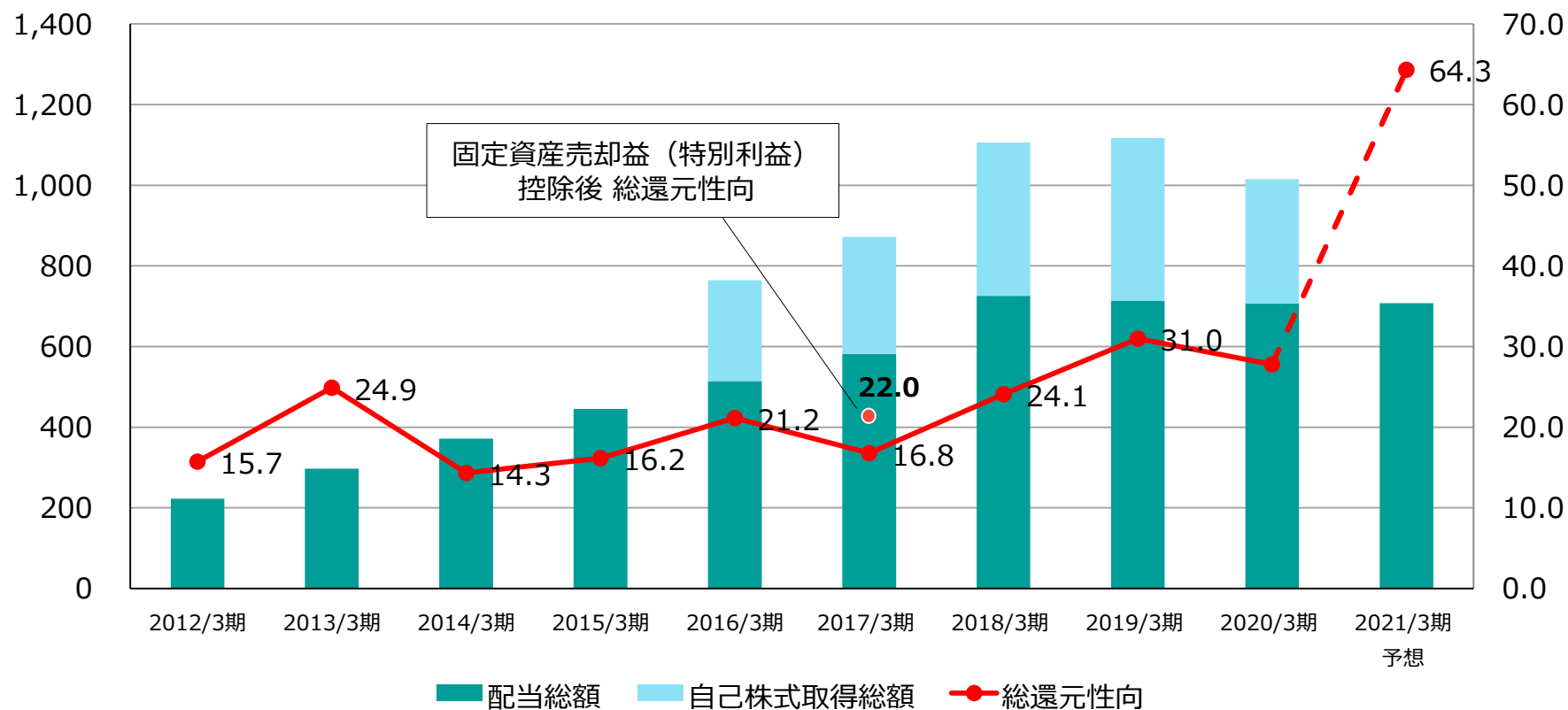


### 3. 株主還元

#### 総還元性向推移

- 業績に連動した継続的な株主還元を着実に実施。2021年3月期は一株あたり25円配当を予定

(百万円)





## Part II. 中期経営計画

# 1. 事業環境認識

	3か年の事業環境認識	今後の方向性
国内塗料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足元では工業用顧客の減産より市況悪化 原材料価格下落は、2Qに顕在化、下期も同水準の 想定</li> <li>■ 東京五輪後は「大阪・関西万博2025」など地方の需 要が活性化し、<b>総需要量は維持される見通し</b></li> <li>■ 自動車軽量化を中心とした素材の変革に向けた対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 汎用市場では製品ラインナップの拡充や販路拡大により シェアアップを図り、工業市場では差別化品を中心とした 高付加価値化を継続</li> <li>■ 同時に、購買コストと製造コストの両面からコスト削減に 注力し、<b>価格競争力を強化</b></li> <li>■ 技術センター活用による顧客サービス向上、製品開発 の活性化</li> </ul>
海外塗料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世界的に自動車生産台数が大きく落ち込んだが、中国 ではいち早く5月より需要回復、他拠点も回復基調</li> <li>■ 中国における環境規制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車部品ビジネスに加え、他の工業市場の拡大や特 色ある一般用塗料の販路を模索し、<b>事業リスクを分散</b></li> <li>■ 中国新工場による環境規制への対応</li> </ul>
照明機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設中心に設備投資が抑制され需要減</li> <li>■ LED照明市場全体では、製品の低価格化の進行や リプレイスサイクルの長期化等により縮小均衡となりつつ も、<b>中長期的に安定推移が続く見通し</b></li> <li>■ 蛍光ランプ市場は緩やかに減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存の技術や製品を応用展開した新市場の開拓推 進、顧客訴求力の向上</li> <li>■ 生産体制と製品開発体制の更なるレベルアップ</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルスの世界的な拡大・長期化により、 国内外の市場環境が大きくマイナスに変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経費削減の徹底</li> <li>■ 国内外の化学物質法規制やCO<sub>2</sub>排出規制強化へ 準じた製品、技術開発</li> </ul>

## 2. ビジョンと方向性

### 経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、  
広く**社会の繁栄と豊かな暮らしの実現**に貢献できる企業を目指します

#### 経営課題

- 環境問題や社会的課題を背景とした産業構造の変革への対応、製品・技術開発の強化を通じた総合サービス力の拡充
- 国内塗料市場の縮小、原材料価格の不安定性といったリスク要因の低減による、収益基盤の強化

顧客への提供価値強化をベースとした  
国内塗料の売上回復

原材料コストと製造コストの低減による  
収益力の強化

### 行動指針：カスタマーファースト

お客様の満足度をいかに向上させるかということを第一に考え、  
お客様との「共存共栄」を図るための行動指針  
顧客メリットを考え、他社がやらない、できないことに集中し  
持続的利益を実現

### 働き方改革の推進

年次有給休暇取得推進、残業時間削減  
「働きがい・生きがい」および「労働生産性」の向上による  
【カスタマーファースト】への貢献を実現



### 3. ESG経営の推進

- DNTグループを取り巻く外部環境の変化に対応、社会課題目標達成への貢献を目指し、活動の意義と照らし合わせた取組を推進

#### DNTグループを取り巻く外部環境の変化と社会課題

##### 国内市場変化

- ◆ 原材料価格の乱高下
- ◆ デジタルテクノロジー発展に伴う産業構造変革
- ◆ 膨大なインフラの経済メンテナンス
- ◆ 少子高齢化による労働人口の減少

##### 海外市場変化

- ◆ 海外経済の不確実性の高まり  
(米中貿易摩擦の長期化など)
- ◆ 新興国を中心とした市場拡大が継続

##### 環境変化

- ◆ 国内外の化学物質法規制の強化
- ◆ 新型コロナウイルスの世界的な拡大・長期化
- ◆ 地球温暖化の進行

#### ① 環境への配慮

#### ② 製品開発によるソリューションの提案

社会貢献度の高いテーマ



#### ④ 社会との調和



#### ③ 働く人の幸せ 豊かな職場づくり

基盤となるテーマ



#### ⑤ 公正で誠実な企業活動

## 4. 中期経営計画の概要

- 新型コロナウイルス影響による事業環境急変の影響を受け、今年度はコロナ対応専念の1年と位置づけ、中計期間を1年間延長
- 2024年3月期目標を「売上750億円、営業利益66億円」とし、成長軌道を確立

長期ビジョン

創立100周年に「**持続的成長力**」を持つ企業を目指す

(億円)

中期経営計画期間 (21/3期~24/3期)

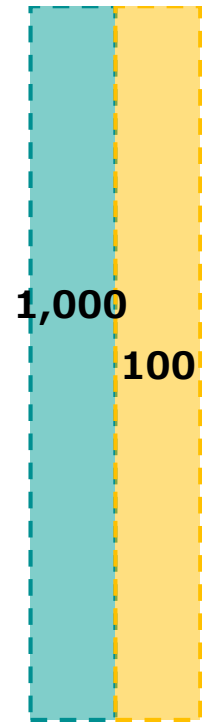
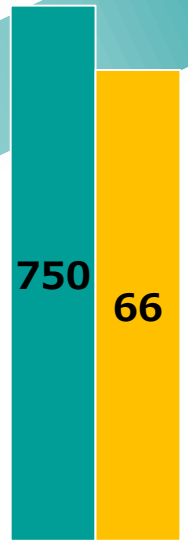
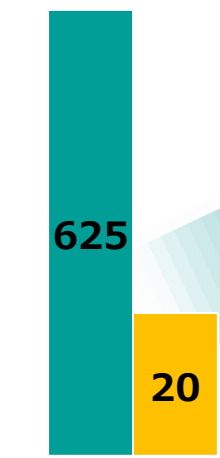
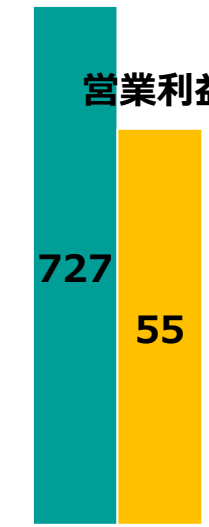
売上高

コロナ対応専念

営業利益

施策5本柱

- 1.提供価値の強化
- 2.価格競争力の強化
- 3.販売体制の強化
- 4.労働生産性の向上
- 5.海外事業の強化



2020/3期実績

2021/3期予想

2024/3期計画

2030/3期

## 5. 中期経営計画 計数計画

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 実績
<b>売上高</b>	72,709
国内塗料	51,861
海外塗料	7,290
照明機器	10,135
蛍光色材	1,337
その他	2,084
<b>営業利益</b>	5,547
国内塗料	2,464
海外塗料	843
照明機器	1,639
蛍光色材	116
その他	217
調整額	266
<b>経常利益</b>	5,786
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	3,662

2024年3月期 目標	2020年3月期比	
	増減額	増減率
<b>75,000</b>	2,290	3.2
<b>54,000</b>	2,138	4.1
<b>8,200</b>	909	12.5
<b>9,400</b>	△ 735	△ 7.3
<b>1,300</b>	△ 37	△ 2.8
<b>2,100</b>	15	0.7
<b>6,600</b>	1,052	19.0
<b>3,600</b>	1,135	46.1
<b>1,100</b>	256	30.5
<b>1,300</b>	△ 339	△ 20.7
<b>120</b>	3	3.4
<b>220</b>	2	0.9
<b>260</b>	△ 6	△ 2.5
<b>6,700</b>	+ 913	15.8
<b>4,000</b>	+ 337	9.2

## 6. 中期経営計画 施策概要

国内塗料	10の主要施策	照明機器
1. 提供価値の強化	① 技術センター活用によるR&Dの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 将来的な成長に向け、製品組込み市場やUV分野（殺菌照明）、野菜・きのこ育成照明など新市場開拓に注力</li> <li>■ 顧客への発信力強化及び生産体制、物流管理のレベルアップによる基本体質の強化</li> </ul>
2. 価格競争力の強化	② 製造コストの削減 ③ 購買コストの削減	
3. 販売体制の強化	④ 営業情報の組織共有に向けた仕組み作り ⑤ 販売店との連携強化 ⑥ 工業用分野における新規開拓	<b>蛍光色材</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内市場へは、防災・減災分野に適合した付加価値の高い製品開発</li> <li>■ 海外市場へは、差別化された環境対応製品を軸にシェア拡大</li> </ul>
4. 労働生産性の向上	⑦ 働き方改革による労働生産性向上	
5. 海外事業の強化	⑧ 海外商品の開発強化 ⑨ 国内外事業の統合的評価 ⑩ 中国新工場の安定稼働	<b>海外塗料</b> <p>タイ： 自動車部品向け特定顧客依存状態からの脱却、販売の裾野拡大</p> <p>中国： 2022年度からの黒字化に向け全業種での拡販に注力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プラ：エリア別に新規開拓</li> <li>■ 金焼：物件対応強化</li> <li>■ 車産：水性塗料の改良</li> <li>■ 一般塗料：抗菌塗料等の拡販</li> </ul> <p>メキシコ： 自プラ新規開拓を継続 生産効率・品質レベル向上</p>

## 7. 中期経営計画の主要施策

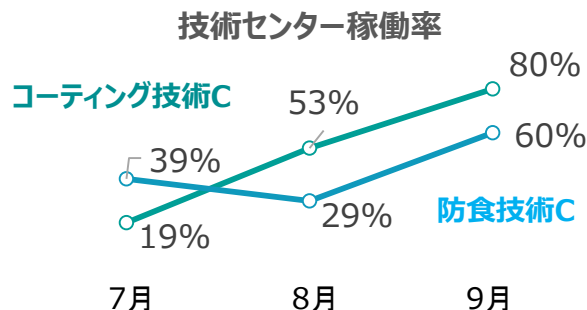
### ① 提供価値の強化（技術センターの活用）

- 環境配慮のための工業製品の素材転換、社会資本の維持保全需要の高まりといった社会動向に対応し、縮小傾向にある国内塗料市場において売上拡大を目指す目的で、技術センターを設立
- 初年度となる今期は技術センターの周知・集客に注力、最終年度には5億円の総利益貢献を目標とする

センター運営工程	実施内容	管理指標	注力期間
周知・集客	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ターゲティング、顧客リストの作成・更新</li> <li>■ 個別訪問、Web上での訴求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センターへの来訪件数</li> </ul>	～2021年3月
センター内での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 見学会、講演会、講習会の実施</li> <li>■ 開発テーマの創出（顧客とのミーティング）</li> <li>■ 顧客との試験塗装、ラインテスト、共同開発検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 見学会、講演会の実施回数</li> <li>■ 案件打合せ・会議開催件数</li> <li>■ 顧客によるテスト件数</li> </ul>	2021年4月～
訪問後のフォロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発テーマの製品化</li> <li>■ 市場フォロー、開発製品の改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品完成件数</li> </ul>	2021年4月～

2024/3期に、センター案件にて**5億円の総利益貢献**を目指す

#### 開所～現在までの成果

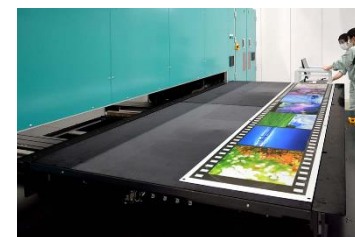


- 両センターともに7～8月は新型コロナ感染拡大により積極的な受け入れが難しかったが、9月からは来訪件数も増加
- 当初は見学会がメインとなるが、8月からは塗装試験や打ち合わせといった案件活動も実施
- 今後、案件活動の比率増加を急ぎ、来訪後のフォロー徹底により、受注獲得へ繋げていく



## 7. 中期経営計画の主要施策

### ① 提供価値の強化（コーティング技術センター／工業用塗料）



各種塗装機械



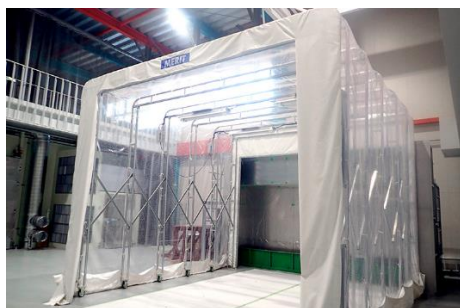
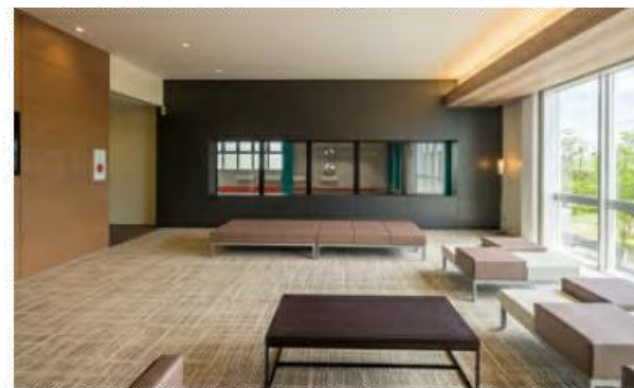
複合塗装試験



大型塗装試験

## 7. 中期経営計画の主要施策

### ① 提供価値の強化（防食技術センター／一般用塗料）



塗装ブース



大型環境試験機



促進防錆試験室

## 7. 中期経営計画の主要施策

### ② 価格競争力の強化

- 原材料統合による大幅な原材料コスト削減に着手し、売上原価の大部分を占める変動費率の低下を図る
- グループ全体の生産体制を最適化し、固定費の圧縮を図る

#### 購買

- 各事業部における塗料配合の変更によるコストダウン
- 社内横断的な**原材料の統廃合**や**配合の統廃合**による調達原料の集約、大ロット化による優位購買の実現
- **自家製樹脂**のコストダウン
- 倉庫整備、在庫適正管理による“まとめ購買”効果の創出

**毎期2億円超の  
原材料コスト減を図る**

(2020/3期売上の購入ベース)

#### 生産

- **グループ全体としての最適な生産体制に向けた検討**  
→ 2020年7月、9月 調色拠点2か所閉鎖  
2021年3月(予定) 一部の塗料生産を、福岡から岡山へ移管集約  
今後も、追加的な拠点集約についての検討を継続
- 少量多品種エリアの効率化 (需給調整、在庫管理業務のRPA等)  
→ 2021年度の稼働を目指し、システム導入等による工程の自動化・省人化に向けて検討中

**2024/3期に3億円の  
コスト改善を図る**

(2020/3期対比)



## 7. 中期経営計画の主要施策

### ③販売体制の強化／④労働生産性の向上

- 営業情報のグループでの組織共有に向けた仕組みづくりを推進、販売ネットワークの拡充を図るとともに、工業用分野における新規開拓を積極推進
- RPA導入による業務効率化を推進し労働生産性を向上、顧客対応力強化を下支えする

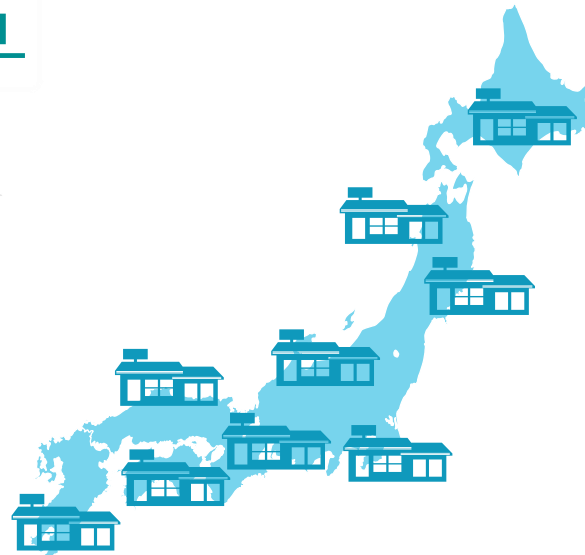
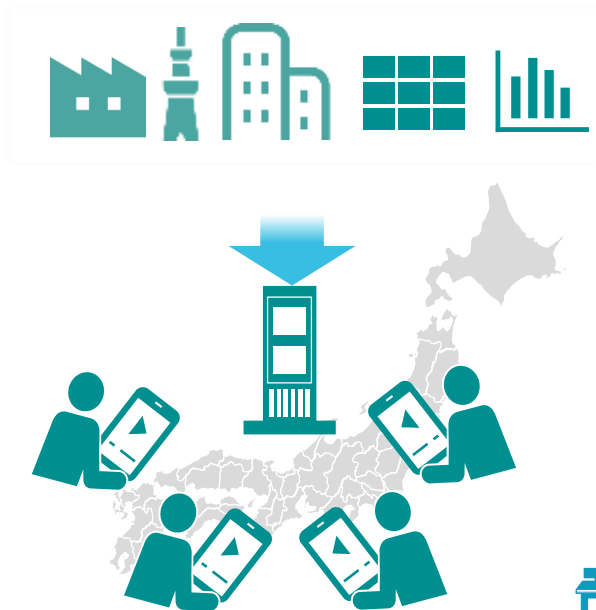
#### 販売体制の強化

#### 労働生産性の向上

##### 営業情報の組織共有

##### 販売店ネットワーク拡充強化

##### RPA導入による業務効率化



## 7. 中期経営計画の主要施策

### ⑤ 海外事業の強化

- 中国・浙江省に環境適格の新工場を建設、塗料試作を開始。商業生産は21年3月からの予定
- 水系塗料や粉体塗料の開発、拡販により環境規制の強化が進む中国市場の需要を取り込む

#### 中国（浙江省 新工場建設）

- 環境・安全規制への適応／生産能力の順次拡大及び粉体塗料の内製化
- 工場稼働後の事業拡大施策
  - －（自部品）水系塗料のラインナップを拡充させ、現地メーカーへの参入、拡販を図る
  - －（他工業）水系塗料の拡販、粉体塗料は生産を安定化させ、他拠点への供給も視野
  - －（一般）抗菌・抗ウイルス塗料などの差別化製品を中心に拡販を図る
- 新工場の設立に伴い当初は大幅なコスト増となるが、上記施策により**2024/3期は2020/3期比で売上+40%を計画し、営業利益も増益を目指す**



新工場イメージ図

#### 東南アジア

- タイ：販売の裾野を拡大し、**主要顧客への依存から脱却**
  - － 自動車部品は、既存の主要顧客の他に収益基盤となる顧客を複数構築し、事業安定性を高める
  - － 粉体塗料や水性塗料中心に工業用分野の拡販を図る
- 他拠点：重要顧客のフォローを中心に拡販
  - － 既存重要顧客への対応を強化し、高付加価値製品を拡販

#### メキシコ

- 中長期的視野に立った新規開拓及び工場整備
  - － 自動車部品市場における新規顧客開拓  
日系以外のメーカーへの参入
  - － 各種データ分析や人材育成による技術レベルの向上
  - － 在庫管理レベル、生産品質レベルの改善

## 8. 中期経営計画（グループ施策）

# 照明機器事業の強化

- 21年度からの業績回復に向け、「業容の拡大」とそれを支える「基本体質の強化」を両輪で進める

【方針1：業容の拡大】

### 新たな市場の開拓を含めた取引先基盤の拡充

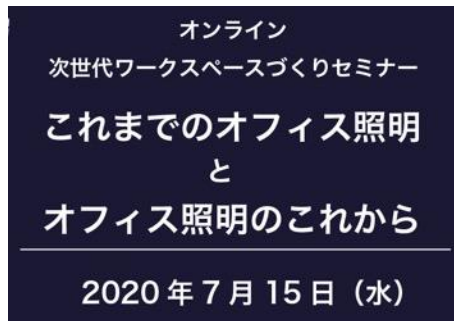
- ①市場開発プロジェクトを活用した**新市場の開拓と既存市場の拡充**（製品組み込み照明市場、ホテル業界、オフィス照明市場、野菜・きのこ市場、UV除菌装置等）
- ②マーケティング・コミュニケーションを起点とした**発信力の強化・顧客訴求力の向上**（ユーザーの開拓のための新たなインフラ体制の拡充）
- ③新製品を活用した既存先へのシェアアップ（プロファイルシステム、ミニレールスポットほか）

【方針2：基本体質の強化】

### 生産体制と製品開発体制のレベルアップ

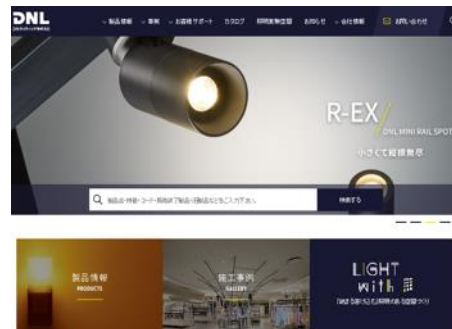
- ①生産子会社における**プロセスイノベーションPJ（生産効率化）**の成果を発現
- ②海外を含めた**グループ生産体制の見直し**
- ③外部連携を含めた**製品開発体制の強化とスピードアップ**
- ④物流体制の見直しと在庫管理のレベルアップ
- ⑤需要動向を踏まえた**蛍光灯生産体制の更なる見直し**

#### 既存市場の拡充



オンラインセミナー開催

#### 発信力の強化



Webサイトリニューアル

#### 新製品の活用・展開



くりんクリンシリーズ

#### プロセスイノベーション成果



IoTを活用したコンベア生産ライン

The background is a teal-colored illustration. On the left, a white lattice tower with several satellite dishes stands on a hill. A train with multiple white and grey cars is shown in profile, moving across a bridge that spans across the middle of the image. In the background, there are stylized city buildings of various heights. The right side of the image is dominated by large, flowing, wavy shapes in shades of teal and white, creating a sense of movement and depth.

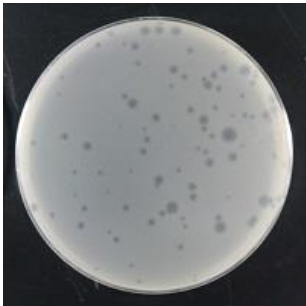
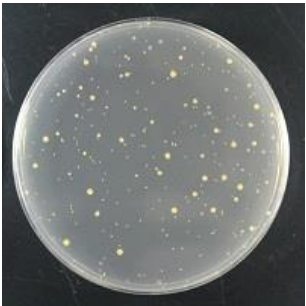

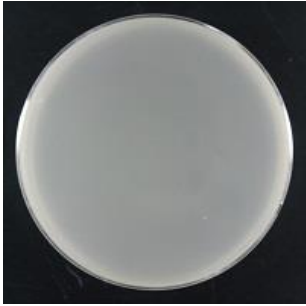
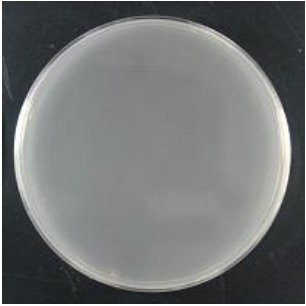

# Appendix.

# 1.製品紹介

## 抗菌・抗ウイルス性 水性塗料『COZY PACK Air』

- 室内照明によって塗膜が光触媒効果を発揮し、塗装面に付着した菌やウイルスを短時間で不活性化する
- 通常、ウイルスが壁に付着すると、ウイルスは2～4日間壁面に残存するとされるが、本塗料を塗装しておくことでウイルスを短時間で不活性化させ、接触感染のリスクを減らすことが出来る

### 抗菌・抗ウイルス性試験結果

ウイルス（バクテリオファージ）※	黄色ブドウ球菌	大腸菌
 ↓ 4時間で99.9%不活性化	 ↓ 8時間で99.9%不活性化	 ↓ 8時間で99.9%不活性化
		

※ ノロウイルスの代替。

### 4つの特徴

- ① **抗菌・抗ウイルス性**  
光触媒効果により、菌やウイルスを短時間で不活性化
- ② **ゼロVOC**  
VOCを一切含有せず、シックハウス対策としても有効
- ③ **超低臭**  
従来の水性塗料よりも臭気を大幅に抑制
- ④ **消臭**  
生活臭気を吸着、分解



## 2.関係会社事業内容

### ①照明機器事業 (DNライティング(株)・ニッポ電気(株))

- 照明器具デザインに発展性を求めながら市場ニーズに対応した製品ラインナップを拡充
- UVランプ製造の技術を活用し、ウイルスや菌を除去する新除菌装置「くりんクリン」の受注生産開始

#### LED関連の競争力強化への取組み

- 高付加価値品と廉価汎用製品の二極化傾向に対応できるバランスのとれた品揃えと生産体制の構築



業界最細クラスの  
100V対応器具  
「SFL」



基板分割検査ロボット



多様化ニーズに応えるカスタムメイド手作業組み立て

#### 導入事例：店舗、ホテル案件



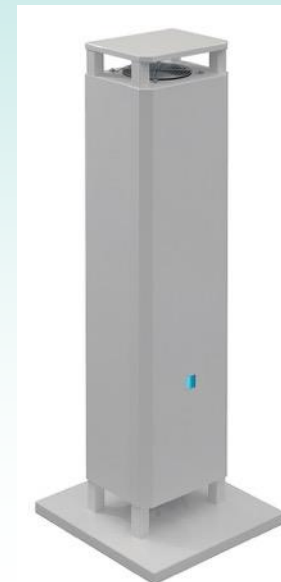
TOUCH TO GO JR高輪ゲートウェイ駅店  
(無人のAI決済店舗)  
撮影：DESIGNESS 株式会社



JR東日本ホテルメッツ  
撮影：荒木文雄

#### 紫外線除菌装置「くりんクリン」

- 衛生ニーズの高まりに対応し、従来のUVランプ技術を活用した空気循環式紫外線除菌装置、表面除菌装置を新たに開発
- 天井取り付け、床置きと様々な室内空間に対応した商品タイプをラインナップ



くりんクリン Stand



くりんクリン Basic



くりんクリンBox

## 2.関係会社事業内容

### ② 蛍光色材事業（シンロイヒ(株)）

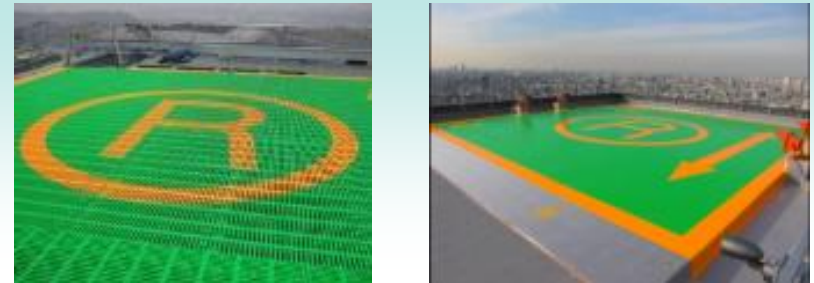
- 蛍光色材会社として、蛍光塗料・顔料における圧倒的な国内シェア
- 素材の製造・販売から、特殊な蛍光塗料を使って建物の内外装デザインまで手掛ける

#### 安全防災マーキング



- 駅ホーム落下防止安全対策としてのCPラインや、河川水害対策の量水標で使用されている蛍光塗料

#### ヘリポートサイン



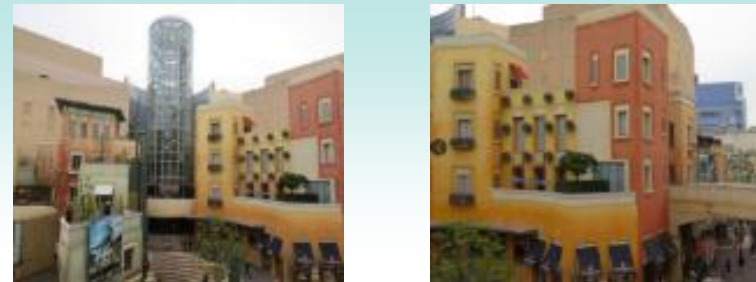
- 高層ビルの災害時に高い視認性で効果を発揮する緊急離発着場専用の蛍光塗料

#### 捺染、インキ用水性蛍光顔料



- 衣服など繊維の染色や印刷用途で使用されている蛍光顔料

#### テーマパークコーティング



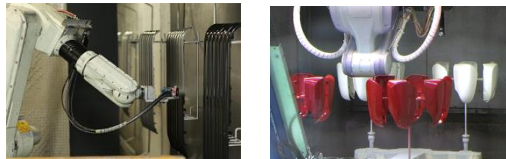
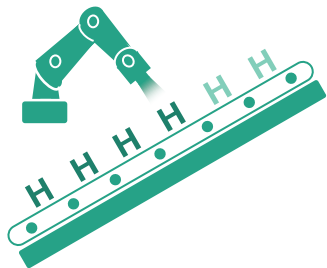
- 耐候性、耐水性に強い水性アクリル樹脂を使用したデコラティブペイント

### 3. 技術センター施設紹介

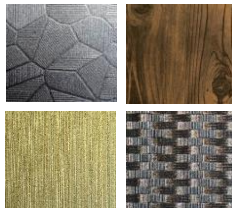
## ① コーティング技術センター

- 最適塗料提案、塗装検証、表面解析・塗膜解析、デザイン開発、IMC技術など全クライアントニーズに対応
- 最適な塗装に求められる機能をセンターに集約、あらゆるコーティング技術の一気通貫でのテスト環境を実現

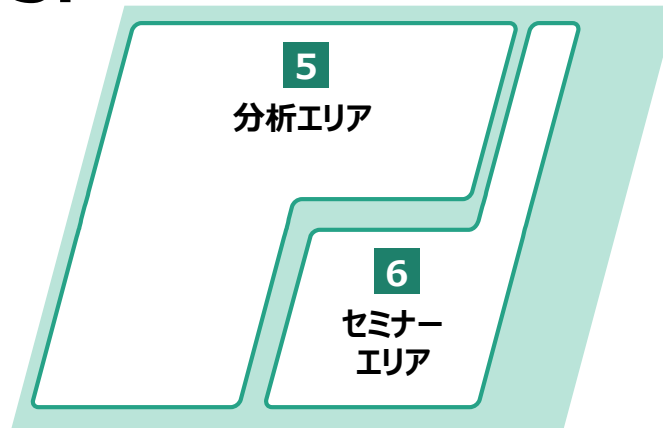
#### 1 液体塗装エリア



#### 3 インクジェット加飾エリア



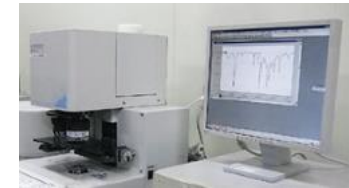
3F



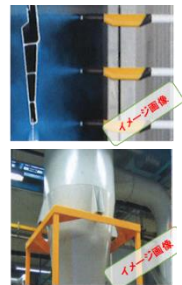
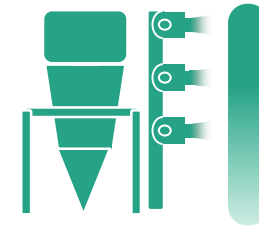
1F



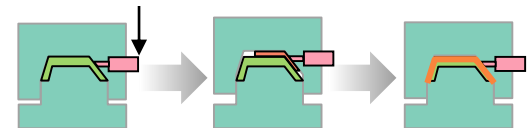
#### 5 分析エリア



#### 2 粉体塗装エリア



#### 4 インモールドコーティングエリア





### 3. 技術センター施設紹介

## ② 防食技術センター

- 大型塗装室、大型環境試験機に加え、温湿度制御、促進防錆試験など様々な塗装環境を実現、防食技術に関するトータルソリューションを提供

#### 7 促進防錆試験室



- 紫外線照射・塩水噴霧・乾燥・湿潤・凍結のサイクル試験を自動制御

#### 4 5 温度・湿度制御塗装ブース



- 温湿度の制御により、様々な塗装環境を再現

#### 3 実験室



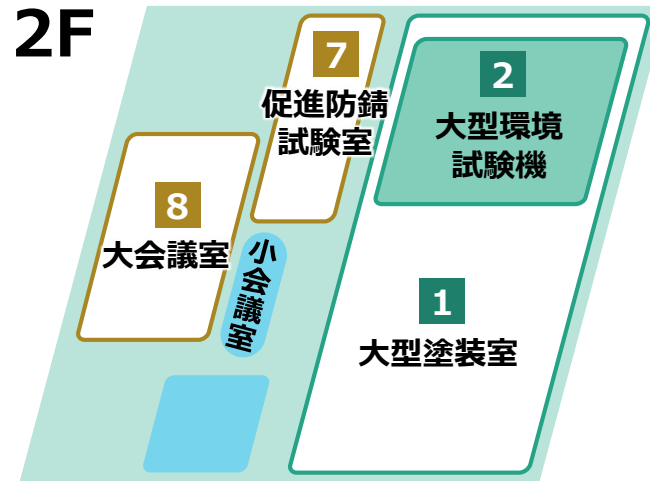
- 塗装前の塗料調製

#### 6 評価室



- 塗膜に関する各種物性試験

2F

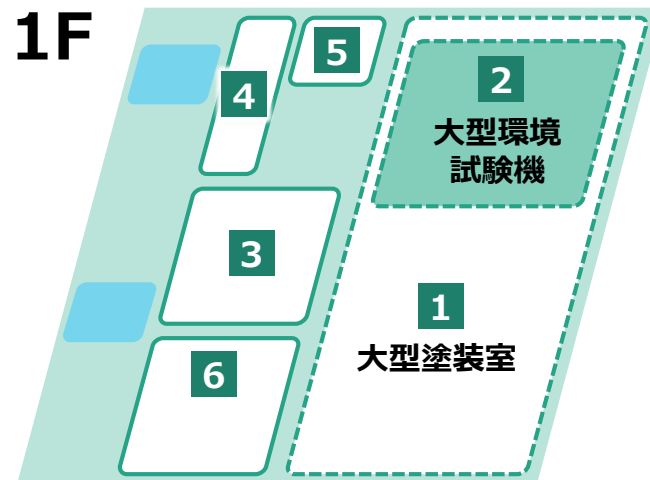


#### 2 大型環境試験機



- 各種環境条件（低温～高温）下で塗装作業や養生を再現し、仕上がりの確認が可能
- 温度、湿度のセンサーでの測定可能

1F



#### 1 大型塗装室



- 任意の大型模擬構造体（例：W3m×H4m）の部材を設置、塗装に関する検証が可能
- コラム材、H鋼、模擬構造体等を用い施工性を評価、施工時の課題抽出や懸念事項を事前に把握、検証

# 本日はありがとうございました

## 彩り企業、DNT。

IRに関するお問い合わせ先

大日本塗料株式会社 管理本部 経営企画室

.....  
電話：06-6266-3103  
e-mail：dnt-sou@star.dnt.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。